

消防だより

# 火

# の用心

Tokamachi Fire Department

No.94



平成30年12月5日

# 特集

# 消防団

前編

## ～消防団の歴史～

江戸時代の火消組織は、武家火消（定火消）と町火消に大別され、武家火消（定火消）は公設消防、町火消は消防団の元祖とされています。町火消は、「江戸町人は町人の手で町家、町内を守る」という郷土愛護の精神を基に生まれ、名高い「いろは48組」などに分けられ活躍しました。火災が起これば町人から火消に早変わりする姿は、まさに今の消防団そのものであり、時代を超えてもその精神は受け継がれています。



# 消防団は

# なぜ地域に必要なのか

## 1 消防団の役割

消防団とは、消防署に勤務する消防士とは異なり、普段は自らの仕事を行い、災害が発生した時に自宅や職場から現場へ駆けつけて様々な活動を行う消防団員で構成している組織です。

消防団員は、火災や自然災害、行方不明者捜索といった各種災害への対応をはじめとして、広報活動や防災指導、救急講習など様々な活動を行い、地域住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

消防団は、地域のために献身的に奉仕的に活動している組織であり、この地域には十日町市消防団（1,846人）と津南町消防団（562人）の2つの消防団があります。

※消防団員数は平成30年10月1日現在の数値です。



災害出動

消火活動、行方不明者捜索、救助活動など



広報活動

地域を巡回しながら防災意識の向上を図る



救急講習

救急に関する様々な指導を行う



防災指導

一般住民へ初期消火訓練等の指導を行う

## 2 消防団の特徴

### 【地域密着性】

消防団員は地域内に暮らす、または勤務していることから、その地域の人々や事情に通じている、地域に密着した組織です。

### 【即時対応力】

地域内に暮らす、または勤務していることから、災害の際にすぐに対応が可能であり、通常の火災はもとより台風や豪雨などの風水害、さらには大規模地震まで、様々な災害に対して即時対応が可能です。

### 【要員動員力】

十日町市と津南町には、消防職員（十日町地域消防本部・署）115人に対して、消防団は2400人ほどの方が在籍しており、災害時には多数の消防団員の動員が可能です。

## 3 装備と車両

消防団員は、防火衣やヘルメット、安全靴など様々な活動装備を備えています。

また、消防団に配備している車両の中でも特徴的なものとして、軽自動車ベースとした消防車（ポンプ車、積載車）があります。軽消防車は機動力が高く、小回りが効くため、山間地や住宅密集地などの道路が狭い現場での有効な活躍が期待できます。



## 4 女性消防団員

女性消防団員は、各種イベントでの防火広報活動や救急講習をはじめとして、女性のソフトな面を生かし、一般住民や子どもたちへの防火教育なども行っています。

また、女性消防団員も自分の居住する地域で火災が発生した場合は、付近住民のケアなど消火活動を補助する大切な役目である支援活動を行います。



## 大震災で発揮された

# 消防団の真価



中越地震の翌日に撮影された雲

新潟県中越地震：【死者】9人 【重軽症者】605人 【損害家屋】15,192棟 【道路破損】705箇所  
総務省消防庁「新潟県中越地震（確定報）」より ※当時の十日町市・川西町・中里村・松代町・松之山町・津南町を合計した数値です。

## 5 新潟県中越地震

新潟県中越地震は、平成16年10月23日17時56分、新潟県中越地方を震源として発生し、最大震度7を記録しました。  
十日町市と津南町では、恐れていた大規模な火災こそ発生しなかったものの、消防署では情報収集や各種出動要請の対応ですぐに手一杯となりました。

十日町市と津南町の消防団は発災当日から多くの団員が出動し、両市町の全域で住民の安否確認や負傷者の搬送、孤立住民の救出など、幅広い活動に力を注ぎました。

また、活動終了が宣言された後も、各地域において長期間の自主的な警戒や被災者への支援活動が続けられました。

## 続 今後の消防団

今またこの地域に、大規模な地震が襲ってくることを想像してみてください。14年前の震災時と比べ、十日町市も津南町も少子高齢化が進んでいます。

そのような中で、消防団の人数はどのように推移しているか？

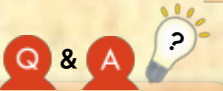
また、今と昔を比べると「消防団の防災力」は、どのように変化しているのか？

次号『火の用心95号』では、消防団の現状に目を向け、これからの消防団の課題とその対策を探っていきます。

### 「消防団の課題」

今後の消防団はどうなる？

後編へ続く・・・



消防団ってボランティアなの？

A

消防団はボランティアではありません。特別職の公務員として団員報酬や出動手当などが支給されます。



災害時に、地域にいる身近な消防団員に助けを求めても良いの？

A

答えは「良い」です。大きな災害が発生すると、必ずしも全ての現場に消防隊員が出動できるとは限りません。そのような時、消防団員は地域住民にとって大きな助けとなります。





サポートショップの申し込みは  
十日町地域消防本部総務課消防団係まで

消防団は、地域防災力の中核を担い、災害時の活動はもちろん、火災等の予防啓発から応急手当指導など、地域の安心・安全を守るために活動しています。「とおかまち・つなん消防団員サポート制度」は、地域のために日夜活動する消防団員とその団員を支える家族を地域全体でサポートする制度です。

十日町市、津南町の消防団員とその家族が、協力店舗（以下、「サポートショップ」）で消防団員証を提示すると、商品価格割引等のサービスの提供を受けられる制度です。

**募集**  
消防団員サポート制度  
協力店募集!



【団員証交付】

【十日町地域消防本部】

- ・消防団員の確保
- ・地域、消防団の活性化
- ・地域防災力の向上 など...

【募集・登録】

【消防団員】



- ・地域の認知度アップ
- ・やりがいのある消防団
- ・加入促進 など...

店舗の利用促進

サービスの提供

※活動を支える家族も対象に

【協力店】

- ・店舗の集客効果、利用促進
- ・地域貢献によるイメージアップ
- ・利用促進による商店の活性化
- ・店舗のPR効果 など...

**募集**  
求ム!消防団員!

十日町市消防団と津南町消防団では年間を通じて消防団員を募集しています。消防団の一員として地域を守りたい方や消防団の活動に興味がある方は、十日町地域消防本部又は各分署へお問い合わせください。



## 街を守る 安心をつくる 消防団員募集

赤色灯

冬期間の危険について

今年も、いよいよ冬がやってきました。雪が降って寒い日が続く、積雪や凍結で路面が滑りやすくなり、転倒する危険が高まります。冬の転倒による救急搬送は、毎年多く発生しており、なかには大きなケガにつながることもあります。少しの注意から、事故の予防は始められます。皆さんも冬特有の事故に備えて、快適なウィンターシーズンを過ごしましょう。

星名

冬場の転倒を予防しよう!	滑りやすい場所を知ろう!
<p><b>1 小さな歩幅でゆっくり</b> 歩幅は小さく、足の裏全体で着地し、ゆっくりと歩こう!</p>	<p><b>1 横断歩道</b> 白線は氷の膜ができてやすく、滑りやすいから気を付けよう!</p>
<p><b>2 両手をあけよう</b> 両手が塞がっていると転倒時に受け身がとれなくなります。</p>	<p><b>2 建物出入口付近</b> 建物の玄関は転倒多発地点!</p>